

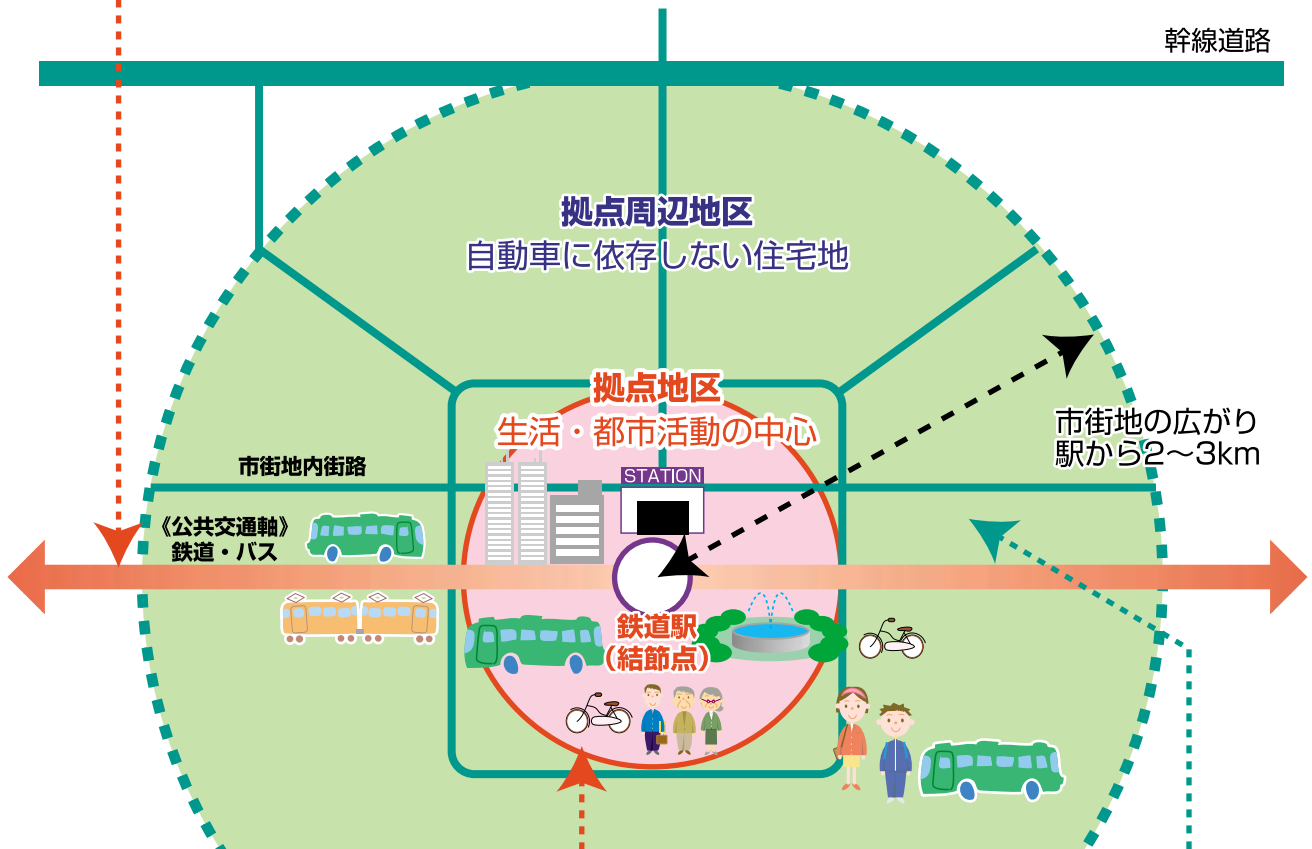
◎仙台都市圏では、将来的には「交通軸上市街地集約型^{*}」都市圏を創っていくことを目指し、当面可能な政策から実施していきます。

^{*}「交通軸上市街地集約型」都市圏とは？

- ・鉄道やバスなどの公共交通の基幹路線駅・ターミナルを中心とした2~3km以内に市街地を集約し、自動車を使わなくても生活できるまちで構成される都市圏です。
- ・外国でいうTOD(Transit Oriented Development:公共交通指向型開発)に近いまちづくりの考え方です。

◎鉄道・バスを中心とした公共交通軸

- 鉄道やバスの幹線路線を整備して「交通軸」とし、その周辺に拠点地区や拠点周辺地区を集約します。
- 交通軸にあたる鉄道・バス路線は、運行頻度を多くして、一定の速達性・信頼性を確保します。



◎拠点地区

生活・都市活動の中心地区

- 鉄道駅やバスターミナルの直近に、職場や商業施設・公共施設などが集まる拠点と、にぎわいある都市空間をつくります。
- 拠点には、業務機能や商業機能の種類や規模(生活・都市活動の広がり)によって、仙台都心、都市拠点、暮らし拠点の種類があります。
- 拠点地区内の移動は徒歩・自転車が中心で、バスなどの公共交通がこれを支援します。

◎拠点周辺地区

一定密度をもつ自動車に依存しない住宅市街地

- 拠点地区の周辺に、その拠点で生活サービスを受けてくらす人や、その拠点または仙台都心など、より大きな拠点で働く人が住む住宅地を集約します。
- 市街地の広がりには仙台都心周辺が最も広く、次いで都市拠点周辺、暮らし拠点周辺の順になります。
- 拠点までの移動は、バスなどの公共交通のほか、近い人は自転車や徒歩になります。